



鴻巣市立下忍小学校

令和5年1月10日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

TEL 548-2300

150 周年の新年に

校長 野本 昌宏

新年あけましておめでとうございます。

みなさまには、希望に満ちた令和5年の新春をお迎えのことと存じます。旧年中の保護者、地域の皆様の本校へのご理解、ご協力、そしてご支援に対しまして心より感謝申し上げます。



木造校舍玄関の絵画（牧宏昭氏作）

さて、本年は下忍小学校が開校して、150周年目にあたる年です。校長室に保管されている「沿革史」や創立100周年記念に編纂された「下忍小百年のあゆみ」に掲載されている「下忍小学校開校の経緯」によれば、明治5（1872）年11月にいくつかの村が話し合い、現在の行田市駒形にある遍照院を借り受け一校を設立したことに始まります。生徒が増加したことや学区が広く通学が困難なことから明治6（1873）年2月20日、下忍にある千手院本堂を借り受け、ところどころ修繕を加え、下忍学校と称し、4月4日をもって開業の式を行ったことが、本校の開校の経緯となっています。

開校の経緯と共に、「下忍小百年のあゆみ」には、開校から30～50年ほどたった明治末から大正に在籍された卒業生の回想記が掲載されています。それによれば、照明はランプの時代で、学用品は石盤と石筆、消すものは紙を丸めたもの、それらと教科書を風呂敷で包んで通学していたとのことです。また、大正元年の東京への汽車での修学旅行や、教員との思い出など本校の100年前の様子が詳細に回想されていて興味は尽きないものでした。

筆とは違い、紙を消費せず、いつでも、どこでも、すぐ書ける石盤、石筆は、現代でいえば、児童用の学習者用端末と同じように当時としては、最新式の文房具だったのでしょう。そして、現代と同じように学習方法も進歩させたものだったのでしょう。

また、当時の教育に対する地域や保護者の思いや教員が子どもの教育に及ぼす影響など本校の歴史を通して、改めて、教育の「不易と流行」について考える新年となりました。

150周年の本校を引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

150 周年記念事業 吹上北中美術部への協力依頼 12月2日(金)

児童会の話し合いで、150周年キャラクター「はなまるちゃん」を校舎の屋上に描くことになりました。しっかりした下絵にしたいので、吹上北中の美術部の皆さんに協力をお願いすることとなりました。過日、児童会の役員が依頼の為、吹上北中を訪問しました。美術部からは、部長さん、副部長さんが対応してくれました。本校の卒業生とのことです。児童会役員は、150周年キャラクターに込めた思いや依頼内容について上手に説明していました。美術部の皆さんは快く引き受けてくれました。屋上に大きな「はなまるちゃん」が描かれるのが今から楽しみです。吹上北中美術部のみなさん、ありがとうございました。そして、よろしくお願いします。



下忍ふれあい応援隊 プール周りの整備 12月15日(木)

プール周りの枯れた雑草を、芝生の管理をしていた「下忍ふれあい応援隊」の皆様が片付けてくださいました。シートを張っているものの、隙間や突き破って生え、枯れたものをてきぱきと処理していただきました。お蔭で、気持ちよく、新年が迎えられました。ありがとうございました。



ものづくり大学の皆様に感謝 12月15日(木)

本校の近隣にあるものづくり大学の皆様のご厚意により、プールに渡るすのこを製作していただきました。今までは、グリーン屋外用の玄関マットを使用していたのですが、猛暑の時などは直射日光で熱せられて熱くなり、はだしでは移動できないこともあり、プールサイドに上履きを脱ぐと、濡れてしまうこともあり苦慮していました。出来上がったすのこは、一般的な形状とは異なり、丸めて収納できますし、地面の傾斜の形状にも柔軟に対応できるものです。



※ホームページの「校長室より」「下忍スナップ」にも学校の活動様子や詳細を掲載していますので是非ご覧ください。

※＜地震災害時の確認＞鴻巣市では、お子さんが学校にいる時、震度5弱以上の地震が発生した場合は、お子さんを学校に留置き、既に提出されている引渡しカードに基づき保護者等へ引渡しとなっております。災害時は混乱等が予想されるため徒歩での引取りにご協力をお願いいたします。